



校訓 まごころ  
 学校教育目標  
 明朗  
 向上  
 自主・自立

## 育つ 育てる

校長 森田和憲

中学生という年頃は、心も体も大きく成長します。日々身長は伸びていきますし、心も大人に近づいていきます。この時期は、放っておいても、「育つ」ように見えますが、よりよく成長するためには、意図的に「育てる」必要があります。

食べ物は、口に入る物なら何でも良いというわけではなく、将来の体のためになる食事に愛情を付け足して与えていく必要があります。

### 行事を通して育てられる力

1年の遠足、2年の林間学校が無事終了しました。どちらの学年も、生徒を中心とした活動を元に、生徒どうしで考え、きまりを決め、自分たちの力で活動できることをめざして準備をしてきました。

活動の中で、子どもたちは、集団で考え、行動することの難しさや楽しさを味わい、大切な力を身に付けました。一方、身勝手さからきまりが守れなかったり、服装がだらしなかったりする面も見られました。この活動を通して学んだことをこれからの日常生活にいかしていく必要があります。

3年生の修学旅行は新型インフルエンザへの懸念から7月に延期をすることとしましたが、3年生も修学旅行を通してさらに大きく成長することを願っています。

ねらいをもって「育てる」、チャンスを見逃さず「育てる」。学校も家庭も共に子どもを育てていきたいと思っています。

### 土曜参観ありがとうございました

5月16日の土曜参観には、1年198家庭(69%)、2年130家庭(45%)、3年149家庭(43%)の保護者の方に来ていただきました。

アンケートは211名の方にご協力いただきました。ありがとうございました。コメントをいただいた方は81名でした。

「授業がわかりやすい、楽しい」「活気があった」「授業が工夫されている」「教員の意欲を感じた」「子どもたちが集中していた」「全体が落ち着いていた」などの肯定的なコメントが44名(54%)、肯定的な面と課題の両方や提案などが12名(15%)、課題の指摘が24名(30%)ありました。課題としては「授業を受ける態度が悪い」「教師の字がきたない、書き順が違う」「施設が古い、汚い」「生徒の服装がだらしない、スカート丈が短い」「生徒の声が小さい、活気がない」「保護者の私語が多い」「授業が難しい、テンポが早い」「授業になっていないクラスがあった」「生徒の言葉遣いが悪い」などのご指摘いただきました。

いずれのコメントも、二中を思い、我が子を思う気持ちにあふれたものです。真摯に受け止め改善に役立たせていただきます。ありがとうございました。

